

# 中原台の風

平成30年度第6号(通算286号)

—佐西学校だより—

平成30年9月28日発行

〔発行責任者〕

長崎県立佐世保西高等学校長 宅島 健司

## Be the light

校長 宅島 健司

「一隅を照らす」という言葉があります。天台宗の開祖伝教大師最澄が、天台宗を開くに当たり、嵯峨天皇に提出した「山家学生式」に記されている言葉です。「一隅を照らす 此れ則ち国宝なりと」(「一隅」とは片隅の意、この場合、今自分がいる場所や置かれた立場のことを指す。)訳出すると、自分自身が置かれたその場所で、精一杯努力し、明るく光り輝くことのできる人は、何ものにも代えがたい国の宝である、というところでしょうか。

さて、体育大会を思い出してみてください。前日まで雨天だったことで、早朝からグラウンド整備やテントの設置など係担当それぞれが準備に時間をかけました。開始時間は遅れましたが、全ての競技・種目を実施することができたのは、それぞれの係が自己の役割を理解し、競技と競技との切替え、準備と後片付けを速やかに行ってくれたからです。放送部や吹奏楽部も体育大会を盛り上げてくれました。育友会の皆様もジュースの販売をしていただきました。そして、ブロックそれぞれが勝利を誓い、入場行進から始まり、それぞれの競技、各種リレー、そして応援合戦に臨みました。勝敗は決しましたが、観覧している保護者や地域の方々、一般のお客様を感動させることができたのは、それぞれが自分自身の置かれた場所で、明るく懸命に頑張ったからに外なりません。君たちは私には輝いて見えました。

ところで、8月9日の平和学習で話した ONE OK ROCK の「Be the light」東日本大震災モノクロバージョンをユーチューブで見てくれたでしょうか。次の言葉は、曲の最後に流れるヴォーカルのタカによるセリフです。

We can't choose the reason why

But we can choose what to do from the day after

So with that hope, with that determination

Let's make tomorrow a brighter and better day

なぜ起こったのかという理由を選ぶことはできないけれど

あの日以来、僕らができることは選ぶことができる

そんな希望と決意をもって

明日をより光差す素晴らしい日にしよう

東日本大震災に限らず、熊本地震や今年の台風による被害や北海道地震など、なぜそこで起こったのかを選ぶことはできません。さらに言えば、私たちは出身や容姿も選ぶことはできません。でも私たちは自分ができることを選ぶことができます。体育大会のような一過性のものでなく、日常の高校生活でもそれぞれにおける使命を理解し、まず自分としてやるべきことに一人一人が自分の持ち場で最善を尽くすことによって、自分自身が輝きます。自分を照らします。そして周囲の人の心を動かし、響かせることで他の人をも照らします。それが一隅を照らすことであると思います。君たちが、それぞれが選んだできることに向かって一歩一歩最善を尽くすことを願っています。

Be the light (その光になれ)

## 体育大会

直前の雨の影響もあり、設営・予行等を予定通り行うことができなかったため、当日の朝早くから職員生徒でグラウンド整備を行いました。当日は生徒たちの思いが届き、絶好の体育大会日和の下、全てのプログラムを予定通り実施することができました。

今年は明るく元気ではつらつとした3年生のリーダーシップが大変印象的な大会となりました。また、特色ある応援や趣向を凝らした装飾が大会を盛り上げてくれました。各競技も西高生らしく全力で走り抜ける諦めない姿に熱くなりました。また集団演技「チャレンジ体操53」は本年度も例年の伝統を受け継ぎ、男子は「集団行動」、女子は「創作ダンス」を実施しました。ご観覧いただいた、皆様の拍手や笑い、感嘆の声、集団演技に高い評価を頂いたものと思っております。

「King of 西高」・「Queen of 西高」では、3連覇の偉業を成し遂げた先輩が卒業し、両種目とも新たなチャンピオンが誕生し、歴史が塗り替えられました。最後を飾る「ブロック対抗リレー」では、総合優勝に大きくかわる大事な種目ということもあり、選手達の必死さと、歓声や各ブロックの応援で大盛り上がりでした。また、今年も3年生のフォークダンスを実施しました。最後の深々としたお礼の挨拶に53回生の思いが表れたステージとなりました。保護者の皆様、最後まで応援をいただき、誠にありがとうございました。来年度も今年を超える体育大会を目指して学校一丸となり取り組んでまいります。

【結果】(総合の部) 優勝 赤ブロック 第2位 青ブロック 第3位 黄ブロック

(装飾の部) 優秀賞 赤・黄ブロック

(応援の部) 優秀賞 青ブロック

(学級対抗リレー) [1年]男子 1位3組 2位2組、女子 1位5組 2位1組

[2年]男子 1位1組 2位5組、女子 1位5組 2位1組

[3年]男子 1位5組 2位1組、女子 1位4組 2位6組



## 芸術鑑賞会について 「今年の芸術鑑賞会は、スクールコンサートです！」

今年度の芸術鑑賞会を、以下の形で開催します。今回のスクールコンサートは「弦を中心とした室内オーケストラ」となっております。鑑賞を希望される保護者の方は、無料で入場できます。ただし、駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

日時 11月1日(木) 13:30 開場 13:58 開演

会場 佐世保西高校体育館

演目 アイネ・クライネ・ナハトムジーク 第1楽章/モーツァルト 他

出演者 長崎OMURA室内合奏団(12名)

**西高祭** 西高祭を振り返って

生徒たちの歓声が湧き起こる。西高祭のオープニングを飾ったのは、本校職員と吹奏楽部によるコラボレーション「栄光の架橋」の演奏でした。

**躍進 ～共に創り出す 新たな文化～**をテーマに9月8日、9日の両日、西高祭を開催いたしました。本年度も職員によるパフォーマンスや、多くの文化部参加による『文化部コラボレーション』を行い、舞台での充実を図るとともに、クオリティの高い西高祭を目指しました。

1日目は、文化部をはじめ、各学年等の発表が行われました。2日目は、各クラス趣向を凝らした、展示やバザー、そして今年度からの取り組みである、クラス劇と様々な催し物がありました。また今年度は、昨年度以上に来校者も多く大変賑わった2日目となりました。そして、閉会セレモニーでは、恒例となった校歌大合唱を行い、全員で肩を組んで校歌を歌った後、今年の西高祭は幕を閉じました。



《10月の行事予定》

2	(火)	前期期末考査(最終日)	9	(火)	秋季休業日(6日～9日まで)
3	(水)	球技大会(午後)	10	(水)	後期始業式
4	(木)	球技大会(終日)	11	(木)	センター試験100日前集会
5	(金)	前期終業日	13	(土)	進研記述(3年)～14日まで
6	(土)	第2回オープンスクール 第2回英検(1次)	16	(火)	長崎大学講義体験(1年)
7	(日)	2年ハイレベル模試(3校合同)	20	(土)	土曜講座(全学年)
8	(月)	体育の日	25	(木)	人生の達人セミナー

**主な試合などの結果**

<ソフトボール部> 平成30年度長崎県高等学校新人体育大会ソフトボール競技大会 **準優勝**

<女子ソフトテニス部> 平成30年度長崎県高等学校新人体育大会ソフトテニス競技

佐世保地区予選 **優勝** 吉福侑加・永木美翔ペア

<男子ハンドボール部> 平成30年度佐世保地区高等学校1年生大会ハンドボール競技 **第1位**

<男子卓球部> 平成30年度佐世保地区高等学校卓球新人選手権大会

男子シングルス 第3位 大宅貴大

<弓道部> 平成30年度 長崎県高等学校佐世保地区新人体育大会弓道競技

男子団体 第3位 女子個人 第5位 松田采弓

**主な試合などの結果**

<陸上部>

○平成30年度佐世保地区高校新人陸上競技大会 **男子総合優勝! 女子総合優勝!**

男子100m 第2位 丸田隆聖、第3位 笹浦哲史

男子200m 第1位 浦歩望、第2位 丸田隆聖、第3位 笹浦哲史

男子400m 第2位 橋口悠祐、第3位 浦歩望

男子400mH 第2位 橋口悠祐、男子走高跳 第2位 小鳥居勇太

男子走幅跳 第1位 濱口光世、男子三段跳 第2位 小鳥居勇太、第3位 濱口光世

男子4×100mR 第2位 浦歩望、丸田隆聖、橋口悠祐、嵩海人

男子4×400mR 第1位 笹浦哲史、橋口悠祐、小鳥居勇太、浦歩望

女子100m 第2位 稲田沙紀、第3位 尾崎日菜乃

女子200m 第2位 高田香帆、女子400m 第2位 古市澪、第3位 岩村莉奈

女子100mH 第1位 金子鈴、女子400mH 第1位 金子鈴、第3位 岩村莉奈

女子走高跳 第1位 稲田沙紀、第3位 グレージャー・メグ

女子走幅跳 第1位 黒石るな、第2位 塚越のどか、

女子三段跳 第1位 黒石るな、第2位 塚越のどか、第3位 喜多ももか

女子4×100mR 第1位 塚越のどか、稲田沙紀、尾崎日菜乃、高田香帆

女子4×400mR 第1位 古市澪、稲田沙紀、金子鈴、岩村莉奈

○第73回九州陸上競技選手権大会

男子走高跳 第2位 小鳥居勇太

女子走高跳 第2位 稲田沙紀

○平成30年度長崎県高等学校新人体育大会陸上競技

男子走高跳 優勝 小鳥居勇太(九州大会出場・日本ユース選手権大会出場)

女子走高跳 第2位 稲田沙紀(九州大会出場)

女子400mH 第2位 金子鈴(九州大会出場)

男子400m 第3位 浦歩望(九州大会出場)

男子400mH 第3位 橋口悠祐(九州大会出場)

男子4×400mR 第2位 笹浦哲史、橋口悠祐、小鳥居勇太、浦歩望(九州大会出場)

<書道部>

○高野山競書大会

南山賞 立石希美、特選 新立あゆ、安富妃佐実

準特選 喜多あやめ、浦川優香、山下栄理

<美術部>

○長崎県美術展

中華人民共和国駐長崎総領事賞 田浦果林

入選 吉村遥香